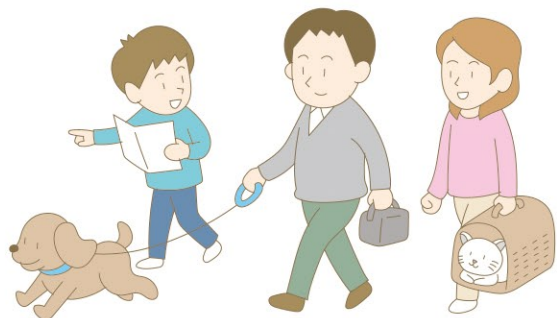


ペット同行避難

災害時はまず、ご自身や家族の安全を確保してください。ペットを守るのは飼い主です。飼い主が無事でなければペットの安全を守ることはできません。災害はいつ発生するかわかりません。いざというとき、家族とペットが安全に避難するために、日ごろから準備をしましょう。

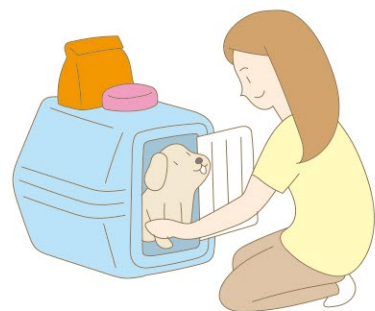


ペットの同行避難とは

同行避難とは、災害発生時や発生のおそれがある場合に、飼い主がペットを同行し、避難所まで安全に避難することです。現在、山北町では、飼い主とペットが避難所の同一空間で居住できるわけではありません。

ペットと同行避難をする際は、必ずケージやペットフードなどを持参しましょう。

また、一般的なペット以外の動物は、避難所での受入れが難しい場合があります。同行避難ができないことを考え、預かり先を確保しておきましょう。



日ごろの備え

家族とペットが安全に避難し、避難所でペットが他の避難者の方に受け入れていただくための準備をしておきましょう。

身元表示

突然の災害に驚いてペットが逃げたしまい、飼い主と離れ離れになってしまう可能性もあります。

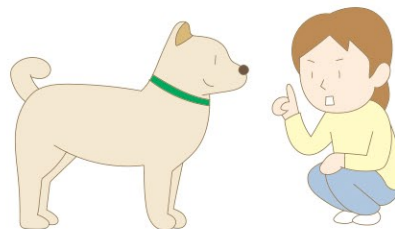
はぐれてしまったペットが飼い主の元に戻るよう、**身元表示**（**迷子札、マイクロチップ**等）をしましょう。



しつけ

安全・迅速に避難し、避難所で周囲に迷惑がかからないように、むやみに吠えない、キャリーバッグやケージに慣らしておく、他人に友好的に接することができる、などのしつけを普段からしておきましょう。

動物のストレス軽減にもつながります。



集団生活のしつけが大切

健康管理

避難所では多くの動物が集まることが予想され、自分のペットが他の動物と一緒に過ごすことになるかもしれません。慣れない環境で過ごすストレスから、体調を崩すこともあります。感染症の蔓延を防ぎ、ペットの健康を守るためにも**日ごろからの健康管理が重要**です。体を清潔に保ち、狂犬病予防注射（犬）や混合ワクチンのほか、ノミなどの外部寄生虫の駆除を行いましょう。

防災用品の備蓄

ペットの飼育に必要なものは、飼い主が用意します。ペットフード、水（3日分以上）、ケージ、首輪、リード、トイレ用品などの備蓄を行い、すぐに持ち出せるよう、飼い主の避難用品と一緒に保管しておきましょう。

